



しかし、あなたの上には主が輝き、
その栄光があなたの上に現れる。

イザヤ60章

クリスマスおめでとうございます！

「モンゴルキッズの家」のためにお祈りと励まし、御支援を本当にありがとうございます。

2018年の1月から、「次ぎの冬が来る前に！」と祈りはじめたプロジェクトは、3月にウランバートルの「主の栄光教会」との協力のもとに準備が始められました。驚くようなスピードで神様の助けを受け、9月9日には、6人のマンホールチルドレンの子供達（彼らもマンホールチルドレン）を迎え、第一号ホームをスタートすることができました。

現地では3人のフルタイムと3人のパートタイム、そしてボランティア達によって、月曜日から金曜日まで24時間体制のホームの生活が進められています。週末は家族のいる子供達はマンホールにいる親のもとへもどり、また日曜日の夜にホームに戻る、というサイクルです。始めは集団生活にはなじめなかった子供達でしたが、自分のコップやお皿で暖かい料理を食べ、洗濯された服を着、仲良くしている様子の写真が送られてくるようになりました。子供たちの顔に笑顔が多くみられるようになってきています。現地の祈り深い働きの実です。ホームの建物は老朽しており、モンゴル式のストーブ（壁を暖める様式）が破損する事故がありましたが、担当の者達とボルドも加わって修理にあたり、ついでに部屋の内装までよく仕上げることができました。

ボルドは受洗して4年目を迎え、未信者の親戚や知り合いを招いて感謝礼拝をもちました。彼がコンテナを使ってはじめた小さなタイヤの修理店は『インマヌエル修理店』と名付けられ、そこには油にまみれた彼の聖書がありました。彼の信仰はしっかりと成長しています。ダシャと家族はまだ信仰をもっていないので、教会に継続してくることにチャレンジがあるようです。でも教会に来る時はアルファベットの勉強をしています。どうぞ、ダシャと家族の救いのためにお祈りください！

千人がみんなで祈り支える、「ドリームトゥゲザー1000」のキャンペーンは12月一週目には930人を越えました。青柳親善大使の協力もあって、今年度中には千人が達成できそうです！それで、新年度は2年目の大きな目標にむかって、「ドリームトゥゲザー2000」に取り組むことになりそうです。続けてお祈りにおぼえていただけたら感謝です。

プロジェクトの様子はホームページに随時アップしていきますので、ご利用くださり、また、感想などもお気軽にお送りください！（「モンゴルキッズの家」で検索）

皆様の上に、2019年も、創造主なる神様と、イエスキリストなる救い主と、助け主なる聖霊様の祝福が豊かにあふれますように、心からお祈り申し上げます。

代表 高見澤栄子
モンゴルチーム代表、ガナ・オトゴン
「モンゴルキッズの家」チーム一同

写真の転送SNS等への投稿はお控えください。

